

# 静岡県の防災や地域創生

## 知事ら熱く語る

関西の交流

2月23日の「富士山西地区ふじのくに交流の日」を前に、関西で活躍する静岡県ゆかりの人々や在阪総領事館関係者を招いた一関席した。



登壇する在阪の各国総領事らと握手を交わす川勝静岡県知事(左) 10日午後、大阪市北区

講演会では元陸上自衛隊幕僚長の君塚栄治(危機管理担当)が「大規模災害への責任ある備え〜東日本大震災の教訓から〜」と題し、東南海地震や富士山噴火などを含む自然災害を想定した対策を紹介した。

「県は富士山静岡空港を中心に、避難タワーを造るなど広域防災拠点づくりを進めているが、市町村レベルではまだ不十分。多くの観光客への対応などを含め発生後72時間以内が勝負。自然を甘く見てはいけない」と説明。川勝平太県知事は「もう東京一極の時代ではない。地域創生により各地で個性を発揮する時代で、そういう意味

では静岡には唯一無二の富士山がある」と語り、県の新たな挑戦へのビジョンを語った。交流会では、静岡名産の料理や酒類が並び、アレン・グリーンバーグ在阪・神戸米国総領事ら諸外国代表も次々登壇。関西在住の県人会代表らも加わって、自然に恵まれた地域の話題に花が咲いた。

平成27年(2015年)2月12日(木曜日)

乗車 乗車 乗車 乗車

### 関西圏に本県PR

#### 知事「新たな挑戦」語る

大阪



川勝平太知事(左)が講演した関西地区ふじのくに交流会—10日、大阪市内

県は10日夜、関西圏で活躍する本県ゆかりの人たちに情報発信す

るため、「関西地区ふじのくに交流会」を大阪市内で開いた。本県出身者や経済、学術・文化界関係者、在阪の外国総領事など計約200人が出席した。「ふじのくに」静岡の新たな挑戦」をテーマに講演した川勝平太知事は「地方創生のモデルとして、世界水準の人材をはじめとする資源を存分に生かし、日本の理想郷づくりに取り組んでいく」と抱負を語った。

交流会では、特設ブースで県政の取り組みをPRした。県産食材を使用した料理や、静岡おでん、富士宮やきそばなどのご当地グルメ、本県の酒米「誉富士」を使った地酒も振る舞った。